

【天然林施業指標林】



1. 森林管理署等：静岡森林管理署
2. 森林計画区：富士森林計画区
3. 所在地：静岡県富士宮市上井出 富士山国有林39ほ1林小班
4. 面積：2.54ha
5. 設定年月日：明治43年度（39ほ林小班）
明治44年度（33と林小班）
6. 設定目的：現存する広葉樹林を択伐作業により多段林に誘導するとともに、有用広葉樹の生産可能な林分造成技術の確立を図る。
7. 材積：ケヤキ112m³ 他広葉樹447m³
8. 施業管理の指針及び施業履歴
 - 昭和62年度：①調査区及び調査プロットの作成（伐採率20%、30%、40%区）
②調査区の択伐実行（39ほ林小班20%区、33と林小班30%区）
 - 昭和63年度：①調査区の択伐実行（30%、40%区）
②萌芽、稚幼樹発生状況調査（39ほ20%、30%、40%区）
③択伐後のプロット内上木調査（39ほ20%、30%、40%区）
 - 平成元年度：①萌芽、稚幼樹発生状況調査

- ②稚幼樹の未発生箇所（一部下刈り及び掻き起こし）
- 平成 2 年度：①プロット内の整理及び掻き起こし
②手鎌による刈りだし
- 平成 3 年度：①萌芽、稚幼樹発生状況調査
②幼木の生育調査
③プロット内の整理（手鎌による刈りだし等）
- 平成 4 年度：①林内密度の稚幼樹の生育経過調査
②各プロット内の刈りだし、萌芽等の整理
- 平成 5 年度～平成 8 年度：林内密度の稚幼樹の生育経過調査

9. その他

- (1) 主な樹種：ケヤキ、キハダ、カエデ、サワグルミ、ミズキ
- (2) 昭和 62 年度に実行された択伐では、天然林施業を推進するため、販売径級に達したものと、カラマツ、その他の針葉樹を優先的に伐採した。広葉樹は、サワグルミ、ミズキ、その他の広葉樹で、全体の 8%を択伐し、択伐率は 28%だった。
- (3) 施業指標林として設定された明示 4 4 年には、33 林班と小班も設定されていたが、現在は指定されていない。

